

	チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など	会議
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・待合スペースが時間設定の見直しがある。増築して、保護者がリラックスできるようにしてほしい ・1人の利用者に対して40分ずつの枠をしっかりと、時間配分の改正が必要。待合スペースの混雑も改善されると思う ・増築が終わった方にスムーズに帰ってもらう	放デイ利用時 案1：宮崎の一部屋登録できる？ 案2：ソファをなくして作りつけの椅子
	② 職員の配置数は適切であるか	○			・急な休みの際、休みのスタッフが出勤しなくてはいけい場合がある。 ・保育所等訪問日などは、人数(事業所内)が足りていない為、AMだけの出勤者もいてはいいのとは思う ・スタッフを増やし人員を+11にしておConオコル的に組んでおく ・1人のスタッフが連続して対応している場合があるため、もう少し間の時間を設ける	保育所等訪問の日でも人員配置基準上の人員を十分に満たしていることを全員で確認した。急な職員の欠席などは、オコル的な対応をとっていく。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○		・部屋の名前を付けると、子ども行く場所が伝わりやすくなると思います(動物?色?等をドアに貼る)	各部屋に部屋の名称とカードでわかるようにしていく
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○				昼、夕の清掃を継続する
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・直接業務と書類でなかなか話し合う時間がとれていない ・全員が揃う日がない ・話し合う時間を設ける ・月一回揃う日を設定する	月末水曜日に全員で職員会議を行う。通常の伝達事項は連絡網で行う。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・申し送り表の作成	記録の用紙の変更を実施する
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		・月一回の「そのままだより」などを作成し、保護者に渡す(月の予定、連絡など)	不定期のお知らせをはじめ。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○			現在、実施していないが来年度から検討する。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・職員会議、職員研修希望 ・児発の日を実施は困難。するなら水曜日 ・週一回曜日を決めて、職員間での話し合いを希望	月末水曜日に全員で職員会議を行う。通常の伝達事項は連絡網で行う。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○				職員間同士で話ができる時間を朝礼で伝える
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○				
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			担当・サブで話し合う時間の確保、共通理解など(1日10分程度)	職員間同士で話ができる時間を朝礼で伝える
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・個別はみんなで課題を考えることは少ないが、困ったときはアドバイスをいただいている(1日10分程度)	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○				
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○				
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・個別スタッフと集団スタッフで、情報を共有することは多い	
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				
関係機関や保護	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○				
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○			医療ケア児の児童発達支援を対象としていないため、行っていない。

者との連携 関係や保護者との連携	⑭ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○				
	⑮ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			・評価シートを定期的に関係機関に持参したり、送付している。 ・その都度(困っていること、悩んでいること)電話で聞く(保護者・先生の許可を取る)	
	⑯ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			・その都度(困っていること、悩んでいること)電話で聞く(保護者・先生の許可を取る) ・年長児に対しては移行支援シートを作る	
	⑰ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
	⑱ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			・イベント、交流会など、いつもの療育とは違う機会を作る	
	⑲ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			月に一回の会議に参加している	
	⑳ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・もう少し保護者と話す時間を確保できたらいいと思う ・ラインではなく、直接会って活動後でも話す時間を確保した方がいいと思う ・個別と個別の時間を少し空ける ・一枠を40分に設定し、小集団の間、担当スタッフが保護者と話す時間を作る(これができると、家族支援につながると思う。LINEもとてもいいのですが、やはり顔を見て話すことは、保護者はとても安心すると思う。)	
	㉑ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	○				
	㉒ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に必ず、重要事項について説明を行う。	
	保護者への説明責任等	㉓ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらわら及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
㉔ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○			必要に応じて、事業所内相談を実施する。また、事業所内相談について、改めて掲示する。	
㉕ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○			現在は実施していないが、来年度茶話会という形で実施したい。	
㉖ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○			・話す時間が取れない場合がある ・話す時間が足りないときは、事業所内相談支援があることを伝える。	
㉗ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○			・月一回の「そらまめだより」などを作成し、保護者に渡す(月の予定、連絡など)	
㉘ 個人情報の取扱いに十分注意しているか		○			・相談スペースなどの部屋があると、支援計画等の説明がしやすいと思う ・現在の事業所では部屋の確保が難しい為、個別の時間を活用する ・増築?事業所内相談などで別に枠をとる	
㉙ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○				
㉚ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○				
非常時等の対応		㉛ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			緊急時対応マニュアルは策定しているので、改めて職員へ周知していく。防犯訓練などについて実施できるように計画していく。
		㉜ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・月一で行ってほしい 避難訓練と合わせて、様々な訓練について実施していく。
	㉝ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○				
	㉞ 食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○				
	㉟ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・月一で報告希望	
	㊱ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				
	㊲ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			身体拘束については、事例はないが、緊急時対応できるように話し合いを重ねていく。	